



# 日中友好協会 八王子支部 ニュース

みんなで参加・多彩な活動! 拡げよう・大きな“わ”! 佐藤副支部長: FAX:042-645-8415



2024. 2. 11 オープンイノベーションフィールド多摩八王子館

## 日中八王子支部 春節を祝う会



二月一日「春節を祝う会」がオープンイノベーションフィールド多摩八王子館で開かれました。会場を飾ったのは、正面に奥田支部長作成の干支が書かれた舞台看板、そしてサイドには中国青島の毛子埠抗戦記念館から送られてきた書画でした。

オープニングは二胡教室の皆さんの演奏。日頃の練習の成果を發揮して、伴奏という形をとったので、会場の皆さんが声を合わせて「北国の春」「ふるさと」「知床旅情」を歌いました。

続いて横浜の沈琳教室の生徒さん、熟練した二胡の調べを奏でてくださいました。そして圧巻だったのが、そのあと演奏された沈琳さんです。「春節でおめでたい赤の衣装を着ました」と言われ演奏開始。その響きに場内は圧倒されました。唐招提寺の落慶法要で演奏、フランスのシラク大統領を招待した席でも演奏されたという経歴の紹介がありました。

私は昨年十二月に縁があつて唐招提寺を訪れ、鑑真和上像を参拝しました。その座像を



「春節を祝う会」となりましたが、内容の豊富などいとなりました。お土産にあつたの焼き餃子をお持ち帰りいただきました。

(加藤)

困むようにして東山魁夷画伯が揚州を描いていた襖絵があつたのです。同じ揚州出身だという沈琳さんの二胡の演奏を聴きながらその絵を思い出しました。

感動が残つたまま、中国語教室のみなさんによる漢詩朗詠が始まりました。「春曉」「静夜思」は私たちがよく知っている漢詩。山佳先生のきれいな中国語を聞いて「韻をふんでいる」ことがよくわかりました。

次に太極拳カフェの皆さんによる演舞。二四式太極拳、三二式太極剣はなかなか力強いものでした。舞台がせまく、演じる皆さんには申し訳なかつたと思います。会場の中で何人か体を動かしている方がいて参加のチャンスを作らなくては、と思いました。

最後に飾つたのはバドエルデネさんの馬頭琴演奏。広いモンゴルの草原が目に浮かぶ演奏。そして今回は友人の「じゅんさん」が参加して下さり、息の合ったお二人によるギターと馬頭琴によるコラボ。「じゅんさん」の歌声も素晴らしく大きな拍手がわきました。

アンコールの「五木の子守歌」が心にしみました。

予定時間をオーバーする



731部隊が、1947年に第4次のアメリカの調査に協力して、部隊で行っていた実験データなどをすべてアメリカに引渡し、731部隊員は、戦犯免責になりました。

そして、一部の731部隊関係者は、国立予防衛生研究所（現在の国立感染症研究所）などに入り、ABCC（原爆傷害調査委員会）に協力して、広島・長崎で被爆に苦しむ人々の放射線の影響の追跡調査を行いました。ABCCは、放射能が人体に与える影響を調べていきます。被爆者のその後の様子や、胎児への影響、妊婦の追跡調査などをやりました。広島・長崎の原爆被害も、米国や日本政府によって矮小化されました。ABCCでは、治療は全く行われず、調査だけでした。そして、被爆者の実態は、報道されず“空白の10年”と言われています。

そして、1954年3月に**アメリカによるビキニ環礁での水爆実験**によって、5月までに延べ約1000隻もの日本の船舶が被爆し、約1万人の**被ばく**船員がいると推定されていますが、その多くの方々は、被爆により、病気になり、亡くなりました。ビキニ事件をきっかけに、日本では、原水爆禁止運動の署名が広がり、広島・長崎の被爆者たちも、声を挙げ、翌年には原水爆禁止世界大会が開かれました。

核被災、放射能の恐ろしさが、日本人に意識され、それが世界に広がりかけた1950年代、核兵器を手にした国々では、核実験が盛んにおこなわれました。

アメリカでは、ネバダ核実験場で、1951年から始まった核実験は、928回に及びました。そのうち、100回が大気圏内核実験でした。この核実験により生まれた膨大な量の放射性物質は、風でアメリカ各地に運ばれ、雨や雪と共に落ち、地上を汚染し続けました。

3月3日に北野市民センターで、上映された「サイレント・フォールアウト」は、1950年代から60年代にかけて、アメリカネバダ州で実施された核実験によるアメリカ大陸の放射能汚染を追ったものです。

監督は、2004年に太平洋核実験によって日本のマグロ漁師が被爆した事実に出会い、映画「放射能を浴びたX年後」「放射能を浴びたX年後II」を制作した伊東英朗（ひであき）監督です。

チラシには、こう書いてあります。

「アメリカ国内で「放射能を浴びたX年後」「放射能を浴びたX年後II」を上映した際、核兵器開発の過程でアメリカ大陸全域が放射能に汚染していることを、アメリカの人たちが全く知らないこ

とに驚きました。

伝えなければいけない、伝え続けなければならない。深まる使命感を胸に、核実験に関わり被爆した元軍人取材するため、2020年、イギリスを訪ねました。取材を重ねると、20歳前後の若者だった彼らの多くが亡くなっていた事実を知りました（※1）。さらに2022年6月から8月、大陸汚染したアメリカを取材。60年前、核実験によるアメリカ大陸の放射能汚染を実証しようとしたのは、女性たちです。子どもの命を守りたい彼女達の思いと行動が、ネケディ大統領を動かししました。この映画が、日本の未来を考える上でひとつの気づきになることを、そしてアメリカの人達が事実を知るきっかけになることを、祈っています」

このように、1950年代からアメリカ国内で行われたアメリカの核実験により、多くの人々が被曝し、それに気づいた女性たちが立ち上がり、「乳歯調査」を行い、放射能汚染を実証し、1963年にケネディ大統領が大気圏内核実験の中止を決断しました。こんなことがあったのに、当のアメリカ人はこの事実を忘れていきます。

日本では、広島・長崎・ビキニ水爆・福島で多くの方が被ばくし、癌等の病気でも亡くなってしまったり、被ばく2世、3世への遺伝的な影響も心配されています。

被ばくを体験した日本から、放射能汚染の恐ろしさ、原発・核兵器の廃絶を訴えて行かねばならないと思います。又、医学者は、過去の731部隊の事を反省し、放射能汚染の及ぼす深刻な人体への影響を強く訴えてもらいたいと思います。

※1・・・

1958年にイギリスが行ったクリスマス島での水爆実験で多くのイギリスの兵士も被曝しました。  
《注》  
被爆と被ばく：核実験による被曝は被曝に、原発事故による被ばくは、被ばくとしています。

19年にわたる独自取材にもとづく、渾身のドキュメンタリー

放射線を浴びたX年後

# サイレント フォールアウト

- 全米の放射能汚染のことをアメリカの人たちはほとんど知らない。
- 私たちが襲ったのは政府が作った核爆弾だったのです。
- 子供たちの体内のストロンチウム90の量が30倍に増えました。




Join "OPERATION TOOTH"  
... send a tooth with a form  
BABY TOOTH SURVEY  
乳歯が語る アメリカ大陸汚染

**ハカルワカル広場映画会**  
2024年 3月3日 (日)

開場 12:30 開演 13:00  
「上映後トークセッションがあります」  
北野市民センター8階ホール  
前売、当日共に 1,000円

(障がいのある方、および高校生以下は無料)  
チケットの申し込み：  
電話、メールでハカルワカル広場へ（裏面参照）

会場案内図  
北野市民センター8階ホール  
北野市民センター  
北野市民センター  
北野市民センター  
北野市民センター

（注）  
（注）  
（注）



# けたの話 ⑩ 修学旅行で沖縄に行ってきました

## 1. 沖縄戦について

松永健汰

前号の連載は勝手ながらお休みさせて頂きました。といいますのも、2/6-2/9まで修学旅行として沖縄県へ行っておりました。今号から3回ほど沖縄での事を書きたいと思っています。

4日間ある内の前半2日間は沖縄戦に関する場所へ赴きました。

最初に向かったのが**沖縄県立平和祈念資料館**資料館の隣には広大な**沖縄県営平和祈念公園**が広がっており、有名な「平和の礎」や各都道府県から贈られた石碑が置かれています。TBS系「報道特集」などで沖縄戦が取り上げられる場合はよく映像に映る場ではありますが、実際に自分の目で見ると別世界です。戦没者の方々が名前を刻まれています。私は全て確認しましたが、私、私の祖父母、知人、友達、先生と同じ姓の方が必ず認められるのです。もしも自分と関わる誰かがここに刻まれていたら…と考えます。胸が張り裂けんばかりの悲しみが心を満たしました。



2日目に向かったのが**アブチラガマ**と**ひめゆり平和祈念資料館**になります。

**アブチラガマ**は、南城市に在る、自然に形成された鍾乳洞のことを指します。そこは沖縄戦当時、最終的に日帝軍の病室壕に使われた場所でした。アブチラガマを守るガイドの方を先頭として、実際に入壕しました。空気が一気に重たくなり、息もし辛くなります。

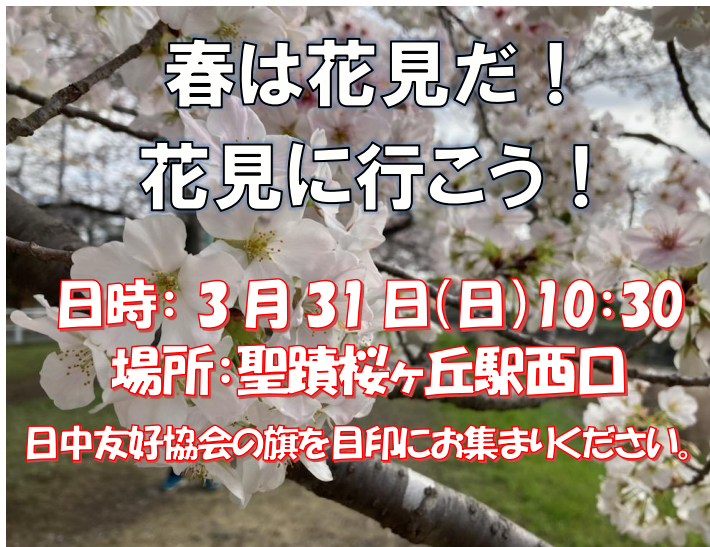
ガイドの方によると、ここに収容されたのは主に脳症を発症した兵士だったそうです。その兵士らを看病したのがひめゆり学徒隊の女学生たちでした。日帝軍の精神として、戦えない兵士は助けないために、ここにいる病人はみな死

を待つばかりです。そんな中、私と同年代の学徒が必死に、日に日に皮膚が腐り弱って行く兵士を見たのでしょう。戦争末期になり、いよいよ**アブチラガマ**からも撤退命令が下ったとき、ひめゆり学徒隊も残らず出壕します。病に伏せる兵士らは…1人として連れられず、遂に放置されるのでした。置いていかれる兵士らは勿論のこと、学徒達の心が余りにも気の毒でなりません。今まで看病していた手前、彼らの苦しみをよく知っている筈です。その上で放って出て行くことは、彼女達にも言葉に出来ない苦しみになって押し掛かった事でしょう。



**アブチラガマ**を出てひとつ祈りを捧げた後、**ひめゆり平和祈念資料館**に訪れました。読者の皆様もご存知でしょうが、ひめゆり学徒隊の女学生はその多くが惨死しています。資料館の最後、出口間際には、学徒隊員の顔写真、氏名、性格、死亡原因までが列挙されています。そこは非常に厳かで、まるで彼女たちの心を代弁しているかのようでした。読めばすぐに、時が違えど私達と変わらないひとりひとりが人間であることを実感します。自らに銃口を突き付けられたような、強い恐怖感を覚えました。

「戦争をしてはならない」という言葉。聞けば誰もが頷くでしょう。しかし太平洋戦争(そして沖縄戦)が段々と離れて行くなかで、日本人はその何よりも大切なことを忘れてしまっているようです。まさに沖縄の島々で、かつて住民を虐殺した米軍が、自衛隊と共に再び軍備を強めています。出会った沖縄県民の誰もが、政府による戦争のための再軍備を望んでいませんでした。憲法9条を守ることは、先の全ての戦没者の方々、そして今を生きる県民の方々の尊厳を護ることでもあります。反戦という正義は、私の心でより強く燃え上がったのでした。  
(高校二年生)



# 春は花見だ！ 花見に行こう！

日時: 3月31日(日)10:30

場所: 聖蹟桜ヶ丘駅西口

日中友好協会の旗を目印にお集まりください。

## 《コース》

1 集合場所から川崎街道を公園まで

ゆっくり歩く(約35分)

2 バス利用 桜06系統で約10分

《行先》 拓魂公苑/都立桜ヶ丘公園

※現地(拓魂公苑)集合 11:00 拓魂碑前

主催 日中友好協会八王子支部・多摩支部

連絡先 八王子:042-645-8411(佐藤)

多摩:042-331-9202(天広)

山越拓児さんの世相を映す替え歌③⑤

## 許すな！金権政治 ～「銭形平次」

♪政治資金パーティーの収入不記載  
キックバックで 裏金に  
国会に呼んで 国会に呼んで  
証人喚問  
真相解明 責任追及を  
政倫審の 弁明くらいじゃ  
許されない

♪東京地検は 見逃したけれど  
国民は聞きたいことがある  
悪い奴らにや 悪い奴らにや  
責任取らそう  
何に使った 誰が始めた  
自民党が システム化した  
裏金づくり

♪道は時には曲がりもするが  
曲げちゃならない民主主義  
カネの力で カネの力で  
政治を曲げる  
企業・団体献金の禁止を  
約束したはず 約束したはず  
実現させよう

パレスチナに  
平和を！

軍拡より  
被災地支援を！

金権腐敗の  
自民党NO！

私達の命を  
守ってきたのが  
憲法9条！

核兵器禁止条約に  
日本も  
参加しよう！

全ての原発を  
廃止！

私腹を肥やす  
議員NO！

第104回

## NO WAR！八王子アクション

3月16日(土)

14時～15時 JR八王子駅 北口 集会

2024年5月26日(日)

アミダステーション1階

## 中国からの引揚げを 語ろう、聞こう

戦後78年たち、戦争の記憶が遠のいていきます。いまここで語らず、聞かずして、いつ聞けるだろう？  
中島幼八さんの話を聞くとともに、自らの体験も語ろう、聞こう。

《日中友好協会八王子支部日程》

3月31日(日) 10:30～観桜会

4月21日(日) 10:00～支部理事会

5月26日(日) 10:00～支部理事会

13:30～中国からの引揚げ体験

6月は薬膳料理講習会を企画中。

八王子支部ホームページ: <https://nittyuyukohachioji.web.fc2.com/>

日中友好新聞は、東北アジアの平和に役立つ確かな情報と中国の文化・歴史の豊かな情報を持つ、月2回発行のタブロイド判8Pの新聞です。嫌・反中報道が溢れる中、公正・中立な報道をしています。ぜひご購入下さい。

1ヶ月550円(送料込み) 購読申込 042-645-8411:佐藤